

学科連携授業

総合的な探究の時間(1・2年)
課題研究(3年)



学科の枠を越えて、共に磨き、共に創る 新しい学び

工業科と家庭科が協働して学ぶ
「総合的な探究の時間」と「課題研究」
(総探) (課研)

未来を創る学びが ここにある

学科連携授業「総探」「課研」をはじめ、工業科と家庭科が協働しながら学ぶ授業は、実験空間「チャレンジ・ボックス(通称:C-BOX)」で行われます。
詳しくはHPに掲載予定です。

総探 I (1年)
コミュニケーションワークショップや進路講話、グループワークによる調べ学習などを行います。

総探 II (2年)
地域社会と連携を図りながら課題を見つけ、探究活動を行い、成果を発表します。

課研 (3年)
総探で培った経験と学びを生かし、自らテーマを決め、協力しながら研究を行い、成果を発表します。

【理解】

協調性

【探究】

創造性・感性

【実践】

地域連携活動

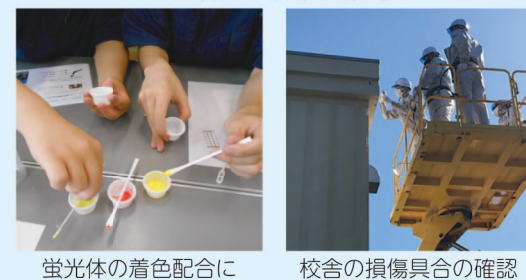
地域連携の継承
(両校で実施してきた活動)

企業の講師による技術指導



熟練工の技を学ぶ溶接講習

企業との共同研究



蛍光体の着色配合によるLED製作

保育施設との連携



遊びながら防災意識を高める防災パズルの作製

被災された方々との交流



プラタブを使ったプローチづくり

専門学校との連携



調理を学ぶ外部講師講座

インターンシップ



地元事業所での職場体験

NPO法人との交流



オリジナルペンづくり体験

部活動

(予定)

運動系 Sports Clubs

- 野球 ● カヌー ● バドミントン ● サッカー ● 卓球
- バスケットボール ● 剣道 ● 柔道 ● 弓道 ● 陸上競技
- ソフトテニス

文化系 Cultural Clubs

- 美術 ● 吹奏楽
- 文芸 ● ものづくり
- コンピュータ



バドミントン部 2年連続東北大会出場

2020オセアニア選手権銀メダル

年間スケジュール

- 4月 ■ 開校式 ■ 入学式 ■ 新入生歓迎会
- 5月 ■ 中間考査
- 6月 ■ 校内陸上競技大会
- 7月 ■ 期末考査 ■ スポーツ大会
- 9月 ■ インターンシップ
- 10月 ■ 中間考査 ■ 修学旅行 ■ 遠足
- 11月 ■ 文化祭(※3年に一度)
- 12月 ■ 期末考査
- 1月 ■ 課題研究発表会
- 2月 ■ 学年末考査
- 3月 ■ 卒業式

進路状況

進学では、二本松工業高校は工学や情報学系の大学に、安達東高校は家政学や食物栄養学、農学系の大学などを中心にそれぞれ合格しています。
就職では、両校とも地域企業を中心に内定100%を続けており、地域から即戦力となる人材を輩出する高校として信頼されてきました。
進学、就職・公務員等すべての進路希望を実現するために、面談、課外授業、個別指導を充実させるなど、丁寧な進路指導を行っています。

案内図



福島県立二本松実業高等学校

<ホームページ>

[https:// nihonmatsu-bh.fcs.ed.jp](https://nihonmatsu-bh.fcs.ed.jp)



〒964-0937 福島県二本松市榎戸一丁目58番地2 TEL 0243-23-0960 FAX 0243-22-7388

令和
5年4月
開校

創造・協調・責任

福島県立二本松実業高等学校

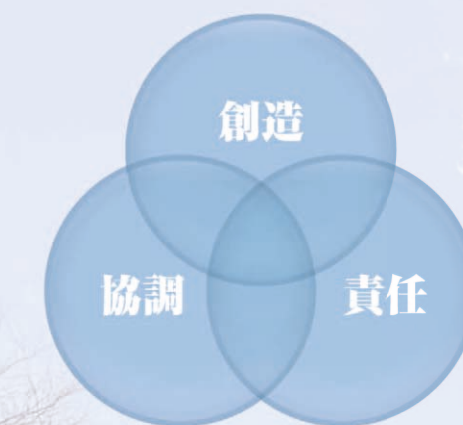
創造性豊かで地域産業の中核となる人材の育成

二本松工業高等学校と安達東高等学校が統合して

二本松実業高等学校

が誕生します。

校訓



教育目標

- 創造力と実践力を併せ持つ自立した人間の育成
 - ① 専門的な知識や技術を主体的に習得し高める態度を養う。
 - ② 学科横断的・体験的な活動を通して創造性を養う。
- 心身ともに健康で調和のとれた人間の育成
 - ① 規律や責任を重んじる健全な精神を育む。
 - ② 職業人として必要な健やかな身体を育む。
- 地域文化を尊重し、社会に貢献する人間の育成
 - ① キャリア教育の充実を図り、勤労観と社会性を養う。
 - ② 地域の産業・生活・文化の発展に寄与できる資質を養う。

特色

- 各学科の専門的な知識や技術を身に付けます。
- 工業科と家庭科の学科連携に取り組みます。
- 地域との連携による実践的・体験的な学びを展開します。
- 少人数教育など個に応じたきめ細かな学習指導を行います。
- 実社会に通用する国家資格・検定を取得し、多様な進路実現を目指します。

課題解決力 コミュニケーション能力 創造力 地域理解 地域貢献

学科連携・地域連携による実践的な教育を通して
創造性豊かで地域産業の中核を担う人材を育成します。

